

これからの取り組み

達成目標



**株式会社キクシマは、社会問題の一つとなっているストック住宅、
いわゆる「空き家」の再生・再利用により、4つの項目を2030年の達成目標といたします。**

近年深刻さを増す自然災害や環境エネルギー問題、教育や雇用問題に格差問題、幼児虐待や育児放棄など、世界のみならず、この日本も大きな問題を抱えた国の一つです。

2030年を達成目標とする持続可能な開発目標を考えたときに、キクシマとして何を優先すべきか、何に取り組むべきかを真剣に考えたときに、いままで培ってきた建築を活かして「人や街に輝きをもたらす取り組み」を行い、上記に挙げた社会問題を少しでも軽減できるのではないかと考えました。

2030年の達成目標

- 01** 地球環境に配慮した住宅づくり P.06
- 02** 地域の防災拠点となる建物づくり P.07
- 03** 子育て支援型住宅づくり P.08
- 04** IOTを活用した再生住宅 P.09